

Morning Seminar 2

June 30 (Sunday), 8:30-9:20

Lecture Room: Room 2 (Small Auditorium)

炎症性眼疾患を考える

**座長****村田 敏規 先生**

信州大学 教授

炎症は、有害な刺激に対する生体の防御機構の一つであり、恒常性を維持するために必要な反応ですが、過剰になると組織に障害を引き起こしたり、アレルギー性疾患を発症させたりします。眼科臨床において炎症と遭遇する機会は多く、発症部位や原因は千差万別で、診断・治療に苦慮されるケースも多々あるのではないのでしょうか。炎症反応を適切にコントロールするためには、そのメカニズムを知ること、どの治療を選択すべきか考慮することが重要です。

そこで本セミナーでは、『炎症性眼疾患を考える』と題し、網膜領域からは、香川大学の鈴間潔先生より網膜血管障害のメカニズムについて、アレルギー領域からは、北海道大学の南場研一先生より春季カタルにおけるタクロリムス点眼薬の有効性と安全性について、講演いただきます。本セミナーがご参加いただいた先生方の明日からの診療の一助になりましたら幸いです。多くの先生のお越しをお待ちしております。

**演者1****鈴間 潔 先生**

香川大学 教授

網膜血管障害のメカニズム**演者2****南場 研一 先生**

北海道大学 診療准教授

**春季カタルにおける
タクロリムス点眼薬の有効性と安全性**